

戸高学び塾

講師の先生方

- ・ 森本晋也先生 (元岩手県釜石市立釜石東中学校防災教育担当教諭
文部科学省総合教育政策局 安全教育調査官)
- ・ 石田真実先生 (認定NPO法人「かながわ311ネットワーク」
防災教育担当理事)

8月6日(木)に、戸塚高校多目的ホールにて戸高学び塾が行われました。
戸高生や地域の方々も一緒に防災について学びました。

前半では講師の森本晋也先生に、東日本大震災その経験や、それまで釜石東中学校が行ってきた「学習や備え」などについてお話していただきました。

～ 私たちが意識すべきこと～

- ・ 自分の身は自分で守る。
- ・ 決して他人事として考えない。
- ・ 自分で調心、考え、行動する。
- ・ 学習と訓練を結びつける。

後半では講師の石田真実先生によるワークショップを行い、戸高生と地域の方々で防災について話し合いました。グループごとにテーマを設定し、ホワイトボードや携帯電話を利用しソーシャルディスタンスを保ちつつ、交流を楽しみました。

その後、会社での会議やオンライン授業などに利用されている「ZOOM」を活用して全体での発表を行いました。



防災クイズ



阪神、淡路大震災で救助された割合が最も高いものは次の3つのうちどれでしょう？

1. 自助 (自分自身、または家族による救出)
2. 共助 (隣人などによる救出)
3. 公助 (主に救助隊による救出)

答えは自助です。阪神、淡路大震災では、自助による救助された割合が7割、共助が3割、公助はごくわずかだったという調査結果もあります。また、東日本大震災でも身近な人と自助共助の気持ちで助けあい、多くの方が助かりました。このような事から分かるように、災害を決して「他人事」と捉えず、一人ひとりが災害に備えるという意識を持つことが大切です。

具体的な対策としては、家の家具の固定や食料の備蓄など事前の備えがあげられます。また、普段行なっている避難訓練でも、災害が起きたことを想定し、気を引き締めて参加しましょう。